

優秀賞

タイトル 蘇る昭和初期の五日市の古民家

タイプ 持家一戸建

構造 在来木造

講評

玄関正面の和室、格子戸に昔の面影を残す。他は利便性から洋風に改修している。施主がこだわった昭和初期住宅の景色は、木の建具、格子、塀と漆喰壁で統一。築70年を経た古民家の調和美・町並美が的確に再現されている。

リフォーム前後の写真



a 昭和初期を再現したようなこだわった外観



リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想・満足度/住宅の価値を向上させた内容など

元は、古くからある五日市のたばこ店。先代が亡くなり、長い海外赴任から戻ってきた施主は、増築を繰り返し、ばらばらな外観をどうにかしたいとリフォームの相談に訪れた。彼は海外生活が長いこともあり、自分が小学生の時に見た景色・感じを再現してほしいと希望。築70年が経ち、老朽化は進んでいるが、構造体はしっかりしていた。そのため屋根の葺き替え、外壁の張替、漆喰壁の塗り替え、内装、設備の一新、補強を施した。

施主のこだわりの一番は、外観。木の建具、木の格子、木塀、漆喰を取り入れ、希望していた昭和初期を再現したような外観に仕上げた。内部にもこだわり、既存の格子戸をそのまま生かし、懐かしく感じられる空間に。完成すると、道行く人が振り返る古民家となった。施主は、「素敵なお家」とよく話しかけられるようになったと喜んでいる。家に合わせて素敵なお外構、庭を作りたいと嬉しそうに話してくれた。

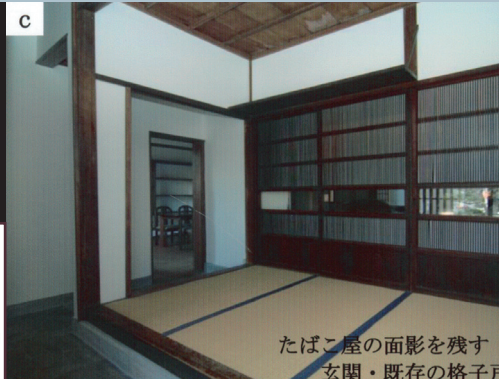
性能向上の特性
耐震性能、断熱性能、耐久性能

特に配慮した事項
こだわりの外観を考へつつ、南側の耐力壁の足りない所に壁を設け、筋違で補強。断熱材が入っていないので、壁、床、屋根に入れ、快適に暮らせるように施した。

データ

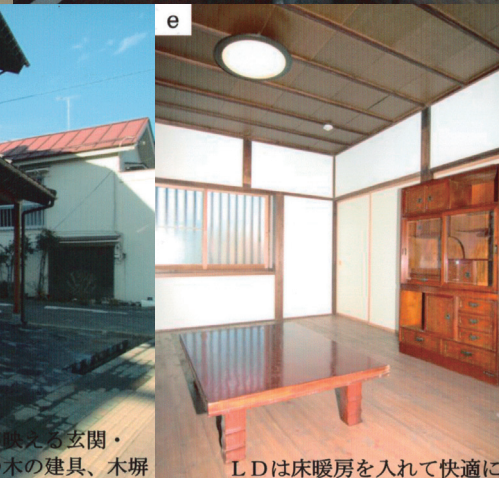
所在地	東京都あきる野市	築後年数	70年	施工期間	120 日間
該当工事面積	127.40 m ² /総工事床面積 127.40 m ²	該当部分工事費	2,600 万円/総工事費 2,600 万円		
居住者構成	15歳以上65歳未満: 1 人/65歳以上: 人/15歳未満: 人/ペット:				
設計会社	(株) 来住野工務店	担当者	来住野 弘		
施工会社	同上	担当者	同上		

before

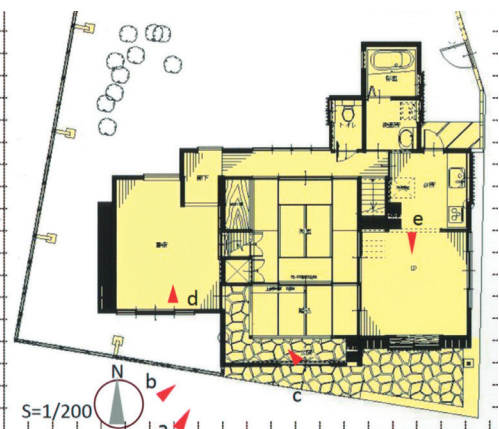
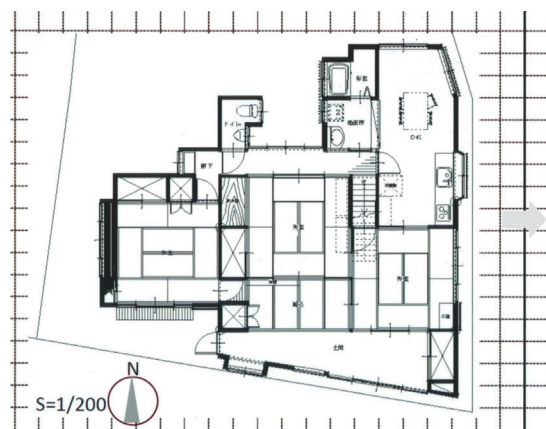


after

リフォーム前



リフォーム後



リフォーム部位: 居室 台所 浴室 便所 洗面所 廊下 階段 玄関 エクステリア マンション共用部分